

I. 目指す学校

教育目標	創造する力	主体的に考え、行動する生徒を育成する。即ち、社会が変化しても周囲や環境のせいにならず、自分の頭で考え、行動し、改善していける力を身につけさせる。
	協働する力	地域社会や世界の様々な文化や価値観を理解し、尊重しながら協働できる力のある人材を育成する。
	人間性	自他を尊重する精神と、生命を大切にし、自然を愛する豊かな心を培う。
スクール・ミッション	「文武不岐」を目指し、自ら学び、自ら鍛え、たくましく生きる力、及び豊かな人間性と発想力・創造力・実行力、社会の変化に左右されない人間力を身に付け、社会に貢献するために積極的に行動する人物を育成します。	
スクール・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー	①進路実現に向けて挑戦を重ねることによる、高い志と初志貫徹の信念の獲得 ②社会人としての礼節と知識を備え、状況に応じて活用する力及び家庭学習習慣の定着 ③他者と関わる主体的な活動を通じた、自己有用感と地域貢献の心の涵養
	カリキュラム・ポリシー	①アクティブ・ラーニング型授業を通じた、基礎学力の定着と検定挑戦による自信の育成 ②進路実現に向けた計画的な学習と検定への挑戦を通じた、学習意欲と知識活用力の育成 ③「分かる・考える・活用する」授業の工夫や少人数・習熟度別授業による確かな学力の育成 ④高校3年間の「総合的な探究の時間」を通じた、生涯にわたり探究を続ける力の育成 ⑤特別活動を通じた、主体性・協調性・責任感及び国際社会で生き抜く力の育成
	アドミッション・ポリシー	①中学校で学習活動に積極的に取り組み、高校入学後も明確な目標をもって学習活動に取り組むことができる生徒 ②中学校で生徒会活動、学校行事、部活動又はボランティア活動等に取り組み、高校入学後も積極的に取り組むことができる生徒 ③中学校3年間において、基本的な生活習慣が確立している生徒

II. 中間的な目標とその達成に向けた方策

目標1	【学習指導】生徒が学ぶ楽しさを実感し「分かる・考える・活用する」喜びを味わえる授業の充実
方策	①教育DXを活用し、アクティブ・ラーニング型授業の推進により学習指導の質と学力の向上を図る。 ②教科会で授業評価を基に改善を検討し、組織的で教科共通の学力向上の仕組みを構築する。 ③生徒の自学自走する仕組みを構築し、資格・検定等の将来への挑戦機会を提供する。 ④体験的な学習を通して理数分野の裾野を広げ、データを基に考える力を育成する。
目標2	【生活指導】人権尊重を基本理念とした基本的生活習慣の確立及び規範意識の育成と社会的自律の促進
方策	①学校生活の中で集団・公共の場を意識した、社会人としての立ち居振る舞いを徹底する。 ②「理解・納得・責任」と生徒指導提要に基づいた、統一した生活指導を全教職員が実施する。 ③丁寧な生活指導を生徒・保護者・地域・教員による、組織的な見直しの仕組みを構築する。
目標3	【進路指導】3年間を見通した組織的なキャリア教育の充実による指導体制と内容の充実
方策	①進路多様校に対応した計画的な進路指導とキャリア教育を策定し、徹底した指導を行う。 ②「ヒガ探」と進路行事を一体化させ、生徒が希望する第一志望の進路実現を支援する。 ③外部人材を活用し、将来必要となるスキルへの挑戦を促し、成功体験を通じて自信を育む。
目標4	【特別活動】主体的な生徒を育成し帰属意識を高め、自律と寛容の態度を育成する指導の充実
方策	①生徒の自主性を尊重し、生徒会活動を十分に機能させることで、主体的な活動の場を確保する。 ②部活動や委員会活動への参加を促し、成功体験や困難を乗り越える経験を通じて人間力を育む。 ③異文化理解や交流の機会を創設し、グローバルな視点をもった多様な国際観・他者理解を育む。
目標5	【心身の健康】生徒の心と体の健康を増進し、安全・安心な学校生活を過ごせる環境の整備
方策	①教科と学校行事を計画的に連携させ、継続的・組織的な健康維持と体力を向上させる。 ②心のSOSを見逃さない教育相談の充実と外部の専門機関との連携や研修体制を強化する。 ③支援の必要な生徒への理解とインクルーシブ教育の組織的な研修と強化を推進する。
目標6	【地域連携・広報活動】地域に根差した本校の魅力発信と広報活動の推進
方策	①本校の特色を明確に示し、学校生活が伝わる広報活動を組織的・継続的に展開する。 ②地域・保護者との交流や活動を活発化させ、誰からも応援される学校づくりを目指す。 ③地域貢献活動やボランティア活動を通じて、生徒の達成感・協調性・責任感を育む。
目標7	【学校運営】本校をより良くしていこうとする検証と改善への組織の強化
方策	①教職員の学校経営参画意識を高め、組織的な人材育成を行い、リーダーを育成する。 ②教育DXを活用し、校務の効率化や簡略化を進め、ライフ・ワーク・バランスを実現する。 ③経営企画室と連携し、予算の計画的活用、施設・設備の修繕や増改修を効率的に実施する。

Ⅲ. 今年度に取組目標と方策

(●数字：最重点項目)

(1) 教育活動の目標		(2) 具体的な方策・重点項目
1 学習指導	(1) デジタル技術の活用と教員の授業力により、モデルステップによる個別学習の対応と学力向上 (2) グローバル社会の課題解決に対応する英語力と日本語の文章理解力等の言語活動の充実を推進 (3) 主権者教育を基盤とする、多様な価値観の理解と多文化共生を通じた生きる力の育成 (4) 図書館環境の整備及び読書月間を柱とした計画的読書活動による読書に親しむ態度の育成 (5) 生徒の実態把握に基づく自立活動の推進と情報共有を通じた特別支援教育の一層の充実 (6) 授業見学による組織的な授業力向上等の人材育成	① 教育DXと教員経験融合による授業内容の統一に向けた教材開発・学力分析による補習等の実施と授業の充実 ② 外部検定試験に挑戦し、漢検・英検の反復学習による将来に資する学力向上及び学習意欲の喚起と自信の醸成 ③ オンライン英会話等や外部施策を活用した、多文化共生や国際理解に関する学習機会の拡充 ④ 生徒の居場所として図書館を充実させ、ビブリオバトル・探究活動等、発表活動への積極的な参画の促進 ⑤ 全教員が支援の必要な生徒への合理的配慮を共通理解し、生徒・保護者・学校の連携による校内体制の充実 ⑥ 教育相互の授業見学を活発化(見学年3回以上)
2 生活指導	(1) 人権尊重を基本理念とした基本的生活習慣の確立及び規範意識の育成と社会的自律の促進 (2) 生徒指導提要に基づき、生徒・保護者等からの意見を参考に、生活指導全般の見直し・検討の実施 (3) 保護者と連携した、いじめの未然防止・早期発見・早期対応への調査・いじめ対策委員会開催 (4) 生徒の主体性を伸ばす社会性・道徳教育の充実 (5) 外部機関と連携した薬物乱用防止・セーフティ教室の充実	⑦ 教員と生徒が相互に尊重し、生徒に「自律した行動」を意識させ、組織として一貫性のある丁寧な生活指導 ⑧ 生徒会・保護者会等での意見聴取及び反映の検討 ⑨ いじめ等の生徒のSOS発信がしやすさや「府中東高校SNSルール」の周知と教育相談の取組の強化 ⑩ 登下校時の公共交通のマナーや自転車通学時のヘルメット着用等のルールとマナー遵守と安全教育の強化 ⑪ 外部機関と連携した犯罪・薬物等の講話の実施 ⑫ 清掃点検カードによる校内美化意識の定着と習慣化
3 進路指導	(1) センター特別指定校を活用し、生徒の適性に合った第一志望実現のための学習支援・進路相談 (2) 探究活動や進路行事により、3年間の生徒の成長を見通した進路指導計画とキャリア教育の推進 (3) 関係機関や保護者と連携した障害のある生徒への個別のかつ計画的な教育・進路支援の充実	⑬ 外部人材・教員研修の活用と強化により、生徒の挑戦意欲を伝播させる進路支援体制の強化 ⑭ 三者面談や保護者を巻き込む進路啓発活動の充実 ⑮ 「ヒガ探」等の体系的学習による進路形成支援の充実 ⑯ 自習室及び「ひがカフェ」を活用した生徒に寄り添う学習支援・放課後指導の組織的な運営
4 特別活動	(1) 主体的な生徒の学校行事の参画による帰属意識の育成及び生徒に任せる機会の増加と支援 (2) 部活動における知識・技術力向上と組織的な運営 (3) 地域貢献活動を通じた公共心と勤労を尊ぶ心の育成及びと特別支援教育の教科横断的な取組 (4) 東京マイ・タイムラインの活用した避難訓練及び防災訓練を通し「自助・共助・公助」の育成	⑰ 生徒運営・企画を任せる学校行事の決定と支援 ⑱ 都の部活動の規定に基づき、顧問と指導員等の連携による競技力向上と業務改善 ⑲ 地域行事・ボランティア活動への生徒の参加促進 ⑳ インクルーシブ教育の理念を踏まえた都立けやきの森学園や福祉施設との交流による共生意識の育成 ㉑ 計画的な避難訓練と地域と連携した防災訓練の実施
5 心身の健康	(1) 「チャレンジサポートプラン」を踏まえた不登校・中途退学の未然防止や早期支援体制の充実 (2) 自殺対策基本法を踏まえた、SOSの出し方に関する教育の実施や相談先の周知 (3) 体育・部活動や「TOKYO ACTIVE PLAN for students」に基づく、スポーツライフの推進と体力の向上	㉒ 定期的な教育相談委員会及び関連機関との連携した生徒へのきめ細かな面談対応とアンケート調査の実施 ㉓ 食事・運動・睡眠・自殺等に関する教科横断的な授業・講話による健康教育の実施とteamsへの相談先提供 ㉔ 技術の向上に留まらず、スポーツに親しむ態度や生涯スポーツとしての部活動・体育的行事の充実
6 広報活動	(1) 入学希望者の視点に立った広報活動を工夫し、生徒の姿が見える授業公開及び学校見学会・説明会・部活動体験等の計画的な実施 (2) 学校HP等を活性化させ、積極的な新情報の発信	㉕ 学校案内・ポスター及び学校HPの改善、short movie作成による分かりやすい情報を発信 ㉖ 学校見学会・説明会等の広報活動の協力(年4回以上) ㉗ 中学校・塾の教員に向けた授業公開・説明会の実施
7 学校運営	(1) 「学校における働き方改革推進プラン」に基づくライフ・ワーク・バランスを推進 (2) 性差に関わらず育児・介護等の休業・休暇制度の活用と周囲の理解の促進 (3) 学校運営連絡協議会の活性化による、委員の意見・要望を生かした学校経営への反映 (4) 経営企画室職員を中心とした安全・安心な施設管理、適正な予算編成・執行及び学校経営への提言	㉘ ICT・デジタル教材等の活用と教育DX活用による業務の効率化と定時退庁日の設定 ㉙ 一人に偏らない業務の平準化により、ライフワークに合わせた育児・介護等の制度の活用率の向上 ㉚ 月45時間超過勤務者への声掛けと健康管理の適正化及び産業医面接の実施 ㉛ 学校課題の意見・要望をもとに、若手教員参画によるPTを立ち上げ、計画的な人材育成と課題解決の実現

IV. 数値目標

今年度の数値項目		今年度の目標	3年間の数値結果（推移）		
			令和7年度	令和6年度	令和5年度
学校評価	学校満足度の肯定回答率	95.0%	91.0%	91.0%	91.0%
	授業満足度の肯定回答率	90.0%	85.0%	91.0%	82.0%
	生活指導理解度の肯定回答率	85.0%	82.0%	71.0%	67.0%
	進路指導満足度の肯定回答率	90.0%	91.0%	90.0%	87.0%
学習指導	長期休業中の講習・補習の講座数	40講座	54講座	44講座	47講座
	図書館利用者数	1,500名以上	1,628名	2,208名	926名
	図書館貸出冊数	2,200冊以上	2,135冊	2,126冊	2,157冊
	英語検定等取得者数準2級以上	50名	74名	19名	37名
	漢字検定取得者数準2級以上	50名	31名	25名	77名
生活指導	年間皆勤の生徒数	90名以上	80名	97名	109名
	年間遅刻延べ回数	7,200名以内	8,235名	8,601名	9,675名
	部活動加入率	70.0%以上	68.8%	69.5%	63.0%
	部活動で関東大会レベル出場部数	3部以上	2部	1部	1部
	部活動で全国大会出場部数	1部以上	1部	1部	1部
	ボランティア活動への参加生徒数	100名以上	70名	105名	91名
	自転車通学生徒のヘルメット着用率	利用者全員	8.0%	8.0%	5.0%
	特別指導件数	10件以下	9件	13件	7件
進路指導	進路決定率	95.0%以上	90.5%	95.0%	92.7%
	4年制大学進学率	60.0%以上	55.6%	60.0%	63.5%
	私立大学（GMARCH）現役合格者数	10名以上	9名	3名	8名
	私立大学（日東駒専）現役合格者数	20名以上	26名	13名	16名
	私立大学（大東亜帝国）現役合格者数	60名以上	61名	78名	55名
	就職者数（うち公務員）	希望者全員	9(4)名	9(1)名	6(0)名
	進路未決定率	5.0%未満	5.0%	5.0%	7.3%
入選・広報活動	本校を第一志望とする者（中進対倍率）	1.30倍以上	1.30倍	1.21倍	1.38倍
	推薦に基づく選抜の応募倍率	3.00倍以上	3.39倍	2.97倍	3.48倍
	学力に基づく選抜の応募倍率	1.30倍以上	1.30倍	1.26倍	1.50倍
	ホームページ更新回数(回)	400回	329回	415回	395回
	ホームページ閲覧回数(万回)	100万回	89.9万回	69万回	64万回
	学校説明会等参加者数(合同説明会を除く)	3,800名以上	3,704名	3,654名	3,517名
	学校見学会・説明会・出前授業の協力（平均）	5.0回以上	6.3回	3.7回	5.3回
学校運営	教育相談に関する委員会の開催回数	20回	27回	24回	20回
	スクールカウンセラー活用（相談数）	480件	626件	325件	237件
	いじめ（重大案件／認知件数）	0/5件以内	0/0件	0/0件	0/1件
	転学／中途退学者数	15/5名以内	25/2名	18/0名	17/0名
	月45時間の超過勤務者（延べ人数）	120名以内	148名	151名	156名
	服務事故（暴言・体罰等を含め）	0件	2件	0件	0件
	センター契約率	56.0%以上	46.7%	53.0%	56.0%

